

発刊日 平成 24 年 11 月 12 日

奈良体育学会会報

第 71 号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良教育大学 保健体育講座 （〒630-8528 奈良市高畑町）

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会会員の皆様へ

奈良体育学会会長 井上洋一

晩秋深まる折、会員の皆様にはますますご活躍のことと存じます。

さて、「平成 24 年度体育学会大会」のご案内をさせていただきます。今年度は、「幼児の運動と遊び」をテーマとしたシンポジウムを開催することになりました。本会が、地域との連携を強め、県内の体育・スポーツ振興に少しでも貢献できればと考え、奈良県教育委員会と奈良市教育委員会の後援をして頂き、このシンポジウムを一般の方に公開することとなりました。また、昨年度同様、奈良女子大学地域貢献事業の一つである「フォーローアップ事業」として位置づけ、奈良県の運動推進員の方にも出席して頂きます。

一般発表では、研究を志す大学院生から活躍中の研究者まで 6 名の方が多様な話題を展開されます。この機会に、多くの方々と幅広い意見交換ができますことを期待しております。万障お繰り合わせの上、ご参会いただきますようお願い申し上げます。

平成 24 年度奈良体育学会大会プログラム

期 日： 平成 24 年 12 月 8 日（土）

会 場： 奈良女子大学 文学系 N 棟 2 階西側 N202 教室

（別紙の地図をご参照下さい）

12 時 00 分～ 受付（N202 教室前）

12 時 15 分～ 平成 24 年度 奈良体育学会総会

〈一般発表〉 12 時 50 分～14 時 50 分（1 題につき発表 15 分、質疑応答 5 分）

座長 ・松井良明（奈良工業高等専門学校） 12 時 50 分～13 時 30 分

・井上洋一（奈良女子大学） 13 時 30 分～14 時 10 分

・中谷 昭（奈良教育大学） 14 時 10 分～14 時 50 分

12 時 50 分～

「中国におけるスポーツ政策変遷の検討 - スポーツ指導者の育成政策に着目して -」

○王 偉（奈良教育大学大学院生）

キーワード：中国のスポーツ変遷、スポーツ指導者システム、育成政策

要旨：2008 年の北京オリンピックの開催を契機に、中国の政治社会の安定と経済の急速な発展は、スポーツにより良い社会環境を提供し、中国のスポーツ改革は新たな時代に入ってきている。スポーツの普及と高度化を進めていく中国のスポーツ政策の変化を明らかにし、中国のスポーツ指導者の現状を分析することより、新たな中国のスポーツ指導者の専門職やスポーツボランティアの出現と広がりを展望する。

13時10分～

「農山村のスポーツ活動における総合型地域スポーツクラブの役割

- ソーシャル・キャピタルの観点から -」

○仲谷鈴雄奈（奈良教育大学大学院生）

キーワード：農山村、総合型地域スポーツクラブ、ソーシャル・キャピタル

要旨：少子高齢化で過疎化が進む農山村で代表者への聞き取り調査を基に、地域の特性と住民の生活を明らかにし、農山村のスポーツ活動における総合型地域スポーツクラブの設立効果をソーシャル・キャピタルの観点から考察する。

13時30分～

「女性の地域生活とスポーツに関する理論的研究」

○胡 山喬（奈良女子大学大学院生）

キーワード：女性とスポーツ、来住者、地域生活

要旨：「主婦」が作るスポーツのネットワークが、彼女たちの生活とどのように関わっているのか。女性とスポーツに関する社会学的研究を地域社会とスポーツ研究の知見に踏まえながら今とは違った見方で検討する。東大阪市における家庭婦人バドミントンクラブの調査を進めるための予備的考察である。

13時50分～

「保護者の体罰意識についての研究 - 運動部活動に着目して -」

○山野修司（奈良教育大学大学院生）

キーワード：体罰、保護者、運動部活動

要旨：本研究は、先行研究から体罰意識に関する質問紙を作成し、運動部活動を行っている子どもを持つ保護者を対象にアンケートを行った。そこから運動部活動における保護者の体罰意識を明らかにしたものである。

14時10分～

「文科省報告書「体育活動中の事故防止」（2012.7.4）について」

○山本徳郎（元奈良女子大学）

キーワード：死亡例年間 40、重度障害例年間 10、柔道死

要旨：文科省は昨年 8 月「体育活動中の事故防止に関する調査研究協力者会議」を設置し、今年 7 月に報告書を公表した。1998 年から 12 年間に生じた事例 590 例（死亡 470 例、障害 120 例）が分析されている。内容を検討し、問題点を指摘する。

14時30分～

「幼稚園児の運動技能と体力の縦断的变化」

○中谷敏昭・白石 晃・梅崎さゆり（天理大学）

キーワード：幼稚園児、運動技能、体力

要旨：奈良県内の幼稚園児を対象として、1 学期から 3 学期にかけて実施した体力テストの機会を利用してテスト実施時の運動技能の質的評価と体力テスト結果との関係について縦断的に検討し、発育に伴う変化を明らかにする。

〈公開シンポジウム〉 15時～17時

テーマ：幼児の運動と遊び

後援：後援：奈良県教育委員会、奈良市教育委員会

趣旨： 少子高齢化社会の進行とともに「子どもの体力低下」が問題となっているが、単に数値として示される体力低下だけでなく、子どもにとっての運動や遊びの重要性について包括的に考える必要があるだろう。本シンポジウムでは、「幼児の運動と遊び」と題して、幼児の体力、遊びと文化、運動技能の獲得、などの視点から4名のシンポジストに講演いただき、今そしてこれから子どもにとっての運動と遊びの意義について考える機会としたい。

司会：藤原素子（奈良女子大学）

シンポジスト：

1) 梅崎さゆり（天理大学）

「ボール運動を中心とした運動遊びが幼児の投球・捕球能力に与える効果について」

2) 高德 希（奈良女子大学）

「幼児の身体運動における調整力 －両足連続跳び越し動作の観察から－」

3) 丹羽敦巳（NPO 法人 バルシューレジャパン）

「バルシューレの実践報告」

4) 智原江美（京都光華女子大学）

「親子をつなぐ運動遊び －保育の視点から－」

全体討論（16時20分頃～）

17時10分～19時00分

懇親会（奈良女子大学 教職員会館）

会費：3,000円

※当日受付可ですが、料理の注文の都合上できるだけ11月23日（金）までに

奈良教大・高橋までお申し込み下さい。電話とファクス番号:0742-27-9235

Eメール:takahasi@nara-edu.ac.jp

研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表された方（一般発表・シンポジウム）は、下記の要領で
ご投稿下さい。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り：平成 25 年 1 月 31 日(木)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局（奈良教育大学 保健体育講座 高橋宛て）

※CD-ROM などの媒体と（添付ファイル可、takahasi@nara-edu.ac.jp まで）、
プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。折り返し受領のお知らせを
しますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書 式：用紙 A4、40 字×40 行一段組、図表ともで 4～6 枚、上下左右の余白を 20
m m

（過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。）

※提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。

事務局からのお知らせ

※ 日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成 24 年度の年度会費をお納め下さい。学会大会当日にも受け付けます。年会費は 1,500 円です。なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 0 1 0 0 0 - 2 - 2 8 1 6 9

加入者名 奈良体育学会

※ 平成 24 年度第 2 回奈良体育学会理事会の開催

2012 年 12 月 8 日（土）午前 10 時 45 分から、奈良女子大学文学部北棟 N118 で開催します。役員（会長、副会長、理事、会計、庶務）の方はご参集下さい。